



## 第6回「みしま・まちの玉手箱」開催

～ 2月15日(土) 愛センターに約800名が集う ～

今年で第6回目を迎えた愛センターの“ビックリなお祭り”「みしま・まちの玉手箱」が開催されました。心配された雨も当日は上がり、愛センターにご縁があった方、ご支援・ご協力をいただいている方々が集まって、大いに盛り上げての一日となりました。

当日のステージ発表では、茨木市のゆるキャラ”プラネタ童子“くんも登場。お馴染みの”落語”をはじめ、ピアノ演奏やフリースタイルフットボール、三島小学校生徒のエイサーなど熱演、また、愛センター全館を使っての展示や出店、体験コーナーや催し物など所狭しと繰り広げられました。

最後には、書道パフォーマンスによるヒューマンワード大賞の紹介や、クイズラリー当選者の発表がありました。参加された方からは、”親子で楽しめてよかった。クイズ・謎解きが楽しかった。アットホームな雰囲気での発表ができた。プラネタ童子可愛い・デカすぎ”などの声。

当日ご参加いただいたみなさま、運営にご協力をいただきました方々にお礼と感謝申し上げます。ありがとうございました。



(帰国者・接触者相談センター/茨木保健所 624-4668・府民向け相談窓口 06-6944-8197)

## 新型コロナウイルスを防ぐとともに

新型コロナウイルスの感染予防として、愛センターの事業も中止や自粛が相次ぎ、ご利用の方々にご迷惑をおかけしています。特にご高齢の方や基礎疾患のある方は重症化しやすい可能性がありますので、手洗い、アルコール消毒の徹底、咳エチケットによる飛沫感染予防、定期的な換気など基本的な感染予防の徹底をお願いします。

感染症に関わっては、ハンセン病、O-157、SARS など、私たちはこれまでも苦い経験をしています。先日、愛センターでは、「ハンセン病問題を考える」と題した企画を実施しました。国の誤った隔離政策や地域での偏見によって、多くの当事者に対して長い間の「人生被害」を与えてしまい、今もなお当事者の人権が回復されたとはいえない状況が残っています。人類が対峙する新しい感染症に対して最大限、予防していくことはもちろんのことですが、感染者やその家族、関係者に対する差別や忌避意識が、さらに重大な人権侵害を起こす可能性があることも私たちは知っています。

まずは正しい情報と行動によって、新たな人権侵害を生み出さない、そのための愛センターでありたいと願っています。

**新たな人権侵害を防ぐ**